

活動団体・活動内容の紹介

団体名		一滴(ひとしずく)の会
構成員数		30名(うち4名は家族会員)
設立の経緯 ・活動のきっかけ (150字以内)		昭和55年春、地元の島四国礼所「甘露庵」でお遍路さんに「おせったい」を行う(杵でついた草餅)。 その時の有志が中心になり「一滴の会」をつくり、鹿島明神社周辺に桜の植栽、海水浴場の清掃、県道のゴミ、缶拾いなどボランティア活動を行い、平成15年5月道路愛護団体「香川県さわやかロード」の認定をうける。
活動状況	活動場所	県道本町小瀬土庄港線(254号線) 鹿島明神社～小豆島みかん選果場まで 約800m
	年間活動回数	年間4～5回
	活動内容 (150字以内)	活動区間には海水浴場があり、ホテル旅館群、大型スーパーが隣接する場所のため、空き缶、ゴミ類が多いため上記活動日は全員に案内し行なう。 それ以外にも汚れた状況に応じ少人数で清掃に取り組む。 また県道沿いにハマボウの木、ガザニア(草花・別名勲章菊)の植栽緑化に努め、海岸の緑地帯の除草に取り組む。 平成21年8月 国土交通大臣表彰受賞
意見(200字以内) ※活動の意義、成果、やりがい、活動を通じて得られたもの、工夫していることなど		清掃活動後に「反省会」として懇親の場をもち、交流を深めている。そのことが地域の活性化にもつながり、8年前から畑を借りて島の特産物「オリーブ」を植栽。秋には実を収穫、農協へ出荷し活動資金にもなっている。会員で「親睦旅行」等の計画を立てている。悩みとしては会員の高齢化による参加率の低下がある。 鹿島海水浴場周辺の清掃、緑化活動に業者、県、町とボランティアの役割分担で美しい道路、地域づくりを進めて行ったら良い。